

フューチャーデザイン

経営科学 グループ課題

グループ8

尾崎友紀 81830117 栗原誠 81830251 小林努 81830277 清水隼人 81830330
蔡孟霖 81830669 平野太一 81830825 ユウサンヨウ 81831046 リュウチョウ 81831087

G8のテーマ

フューチャーデザイン
ドメイン投票の観点から



目次

CONTENTS

- 01 → フューチャーデザイン（FD）
- 02 → FDの活用事例
- 03 → ドメイン投票
- 04 → ドメイン投票の課題と解決策
- 05 → FDと経営科学の繋がり

フューチャーデザイン

現役世代と将来世代の便益の負担に関する
世代間の利害はトレードオフの関係にある

現在の仕組みが将来世代の利益を奪ってしまっている

将来世代に資源や可能性を残す仕組みが必要である



このような課題を解決するために生まれた概念



フューチャーデザインの活用方法

- 都市計画

- 教育問題

- 年金問題

- 政治問題

ドメイン投票

出生率の低下、人口の高齢化により、
投票権の高齢者のウエイトが大きくなり、
将来世代の意見が反映されない



このような問題に対して、
若い世代の声を反映させた政治を実現する
ための方法として提唱された投票方法

未成年者も含め一人一票とし、未成年者の票を親が
代理行使することで、一人一票の原則を保持する

ドメイン投票の問題点

子どもがいない人の力が弱くなる危険性

01

今後生まれる将来世代の利益は考慮されていない

04

課題

02

投票権分配や養子等による人権問題

03

子どもの投票権を自分の利益のために使う

① 現役世代・将来世代の効用のマッチング

公共設備・インフラなどの都市構造計画において現役世代・将来世代の効用を算出しマッチング

② 非協力ゲーム

現在、投票においては高齢者の力が強い

(現役将来・高齢者)



ドメイン投票採用により将来世代の力が強くなる



解決策・・・ドメイン投票前に話し合いを行い、
両者の効用を最大化を図る。



	(1・1)	(5・1) (ドメイン投票適用時)	
	(1・5) (現状)	(4・4) (話し合い後)	

世代別選挙区制の導入

日本の国会議員は50歳以上が60%を占め若い世代に不利な政策が推進されやすい
「地域」でなく「有権者の世代」で選挙区を配置 例)18-30代の「青年区」60代以上の「老年区」

1票の世代間比率の設定

世代人口の偏りによる1票の格差是正を目的に世代間比率を導入
例)18-30代 (1票 \times 1.2) 40-60代 (1票 \times 1.0) 70代以上(1票 \times 0.8)

高齢者の選挙権を自主的に返還

高齢世代の票数を調整し1票の格差を是正
※免許返還と同様に自主性を想定

APPENDIX

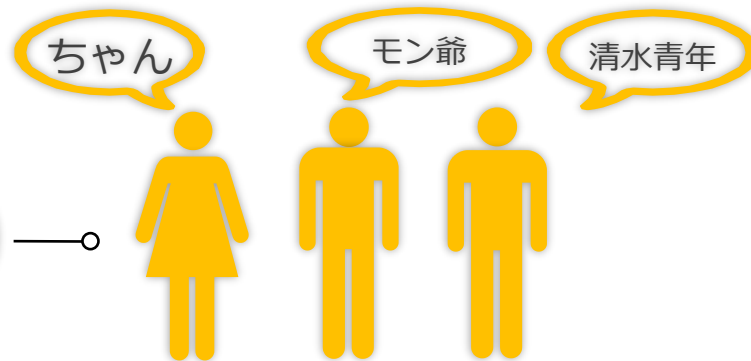
テーマ “平野不動産 老朽化に伴うマンション建替有無の住民投票”

建て替えない **4票**



- ・住み慣れた我が家に住み続けられる
- ・まとまった資金が不要
- ×・旧耐震基準
- ×・古い設備

建て替える **3票**



- ・資産価値向上
- ・新耐震基準
- ・最新設備
- ×・まとまった資金が必要
- ×・建築中は仮住まいへの転居が必要

フューチャーデザインの課題

ドメイン投票

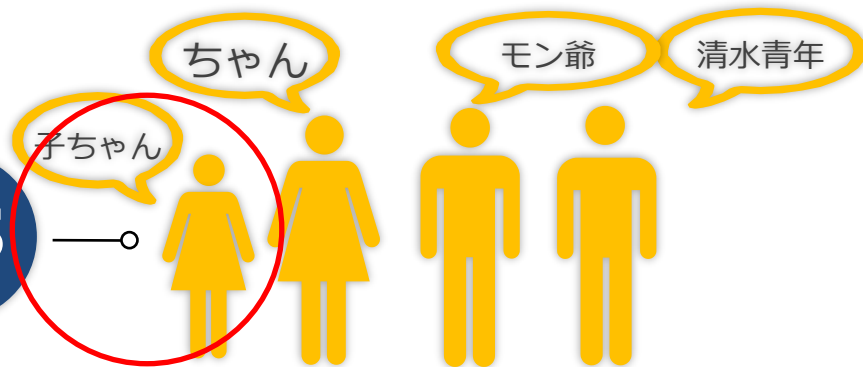
テーマ “平野不動産 老朽化に伴うマンション建替有無の住民投票”

建て替えない 4票



- ・住み慣れた我が家に住み続けられる
- ・まとまった資金が不要
- ×・旧耐震基準
- ×・古い設備

建て替える 4票



- ・資産価値向上
- ・新耐震基準
- ・最新設備
- ×・まとまった資金が必要
- ×・建築中は仮住まいへの転居が必要